

島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(屋外重要土木構造物等における機器・配管系に対する影響検討)

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別, 目録番号	図書名称	該当頁					
1	2023/3/8	NS2-補-027- 16-2	補足説明資料	屋外重要土木構造物等における機器・配管系に対する影響検討(コンクリート実強度)	P.84	コンクリート実強度に関して、スクラバ容器の詳細評価及び評価結果を踏まえて、実設計にどのような影響を及ぼすか説明すること。	今回回答	資料にスクラバ容器の詳細評価結果を追記しました。詳細評価結果の発生値は許容値以下であり、また、詳細評価結果の発生値は耐震計算書の発生値を下回ることから、工認添付書類に評価結果を反映すべき対象がないことを確認しました。	NS2-補-027-16-2改01「屋外重要土木構造物等における機器・配管系に対する影響検討(コンクリート実強度)」P.85	

島根原子力発電所第2号機 工認記載適正化箇所(屋外重要土木構造物等における機器・配管系に対する影響検討)

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
1	NS2-補-027-16-1改01	屋外重要土木構造物等における機器・配管系に対する影響検討(地下水位低下)	目次,P.6	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)条件比率の作成 (新)条件比率の算定	2023/3/23	
2	NS2-補-027-16-1改01	屋外重要土木構造物等における機器・配管系に対する影響検討(地下水位低下)	目次,P.7,77~85	3.1~3.41について、2と対応した項目名称としました。 上記に伴い3.2として新たに「簡易評価①」の項目を追加し、簡易評価結果の内容を3.2と3.41に分割して記載しました。 3.2の追加に伴い3.3以降の項番及び図表番号を修正しました。	2023/3/23	
3	NS2-補-027-16-1改01	屋外重要土木構造物等における機器・配管系に対する影響検討(地下水位低下)	P.1	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)補足説明資料[NS2-補-023-13地震応答に影響を及ぼす不確かさ要因の整理] (新)NS2-補-023-13[地震応答に影響を及ぼす不確かさ要因の整理]	2023/3/23	
4	NS2-補-027-16-1改01	屋外重要土木構造物等における機器・配管系に対する影響検討(地下水位低下)	P.4	応答比較を実施する床応答スペクトルの固有周期範囲と減衰定数を明確化しました。 また、全方向、全標高、全固有周期における応答比率の最大値が1を上回る場合にその応答による影響を検討する旨を明確化しました。	2023/3/23	
5	NS2-補-027-16-1改01	屋外重要土木構造物等における機器・配管系に対する影響検討(地下水位低下)	P.4,5	簡易評価①及び影響検討条件作成に適用する床応答比率を算出する床応答スペクトルの減衰定数を明確化しました。	2023/3/23	
6	NS2-補-027-16-1改01	屋外重要土木構造物等における機器・配管系に対する影響検討(地下水位低下)	P.7	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)3.1.1~3.1.7に示す通り、応答比率が1を上回ることを確認した。 (新)応答比較の結果、3.1.1~3.1.7に示す通り、各屋外重要土木構造物等において、応答比率の最大値が1を上回ることを確認した。	2023/3/23	
7	NS2-補-027-16-1改01	屋外重要土木構造物等における機器・配管系に対する影響検討(地下水位低下)	P.7~9 他	震度表の記載を以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)震度($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0(1.2)$ (新)震度 $\times 1.0(1.2)$	2023/3/23	
8	NS2-補-027-16-1改01	屋外重要土木構造物等における機器・配管系に対する影響検討(地下水位低下)	P.77	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)簡易評価①の結果、以下の構造物について応答比率>裕度となる設備があることから、 (新)簡易評価①において応答比率が設備の裕度を上回った設備が設置される以下の構造物について	2023/3/23	
9	NS2-補-027-16-1改01	屋外重要土木構造物等における機器・配管系に対する影響検討(地下水位低下)	P.85	以下の誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)簡易評価①の結果、一部の設備(2設備)を除き、応答比率が設備の裕度以下となる (新)簡易評価①において応答比率が設備の裕度を上回った	2023/3/23	
10	NS2-補-027-16-1改01	屋外重要土木構造物等における機器・配管系に対する影響検討(地下水位低下)	P.85	表に設備の一次固有周期と設計用条件の種類を追記しました。	2023/3/23	
11	NS2-補-027-16-2改01	屋外重要土木構造物等における機器・配管系に対する影響検討(コンクリート実強度)	目次	ページ番号の適正化を行いました。	2023/3/23	
12	NS2-補-027-16-2改01	屋外重要土木構造物等における機器・配管系に対する影響検討(コンクリート実強度)	目次,P.6	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)条件比率の作成 (新)条件比率の算定	2023/3/23	
13	NS2-補-027-16-2改01	屋外重要土木構造物等における機器・配管系に対する影響検討(コンクリート実強度)	目次,P.7,83~85	3.1~3.41について、2と対応した項目名称としました。 上記に伴い3.2として新たに「簡易評価①」の項目を追加し、簡易評価結果の内容を3.2と3.41に分割して記載しました。 3.2の追加に伴い3.3以降の項番及び図表番号を修正しました。	2023/3/23	
14	NS2-補-027-16-2改01	屋外重要土木構造物等における機器・配管系に対する影響検討(コンクリート実強度)	P.1	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)補足説明資料[NS2-補-023-13地震応答に影響を及ぼす不確かさ要因の整理] (新)NS2-補-023-13[地震応答に影響を及ぼす不確かさ要因の整理]	2023/3/23	
15	NS2-補-027-16-2改01	屋外重要土木構造物等における機器・配管系に対する影響検討(コンクリート実強度)	P.4	応答比較を実施する床応答スペクトルの固有周期範囲と減衰定数を明確化しました。 また、全方向、全標高、全固有周期における応答比率の最大値が1を上回る場合にその応答による影響を検討する旨を明確化しました。	2023/3/23	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
16	NS2-補-027-16-2改01	屋外重要土木構造物等における機器・配管系に対する影響検討(コンクリート実強度)	P.4,5	簡易評価①及び影響検討条件作成に適用する応答比率を算出する床応答スペクトルの減衰定数を明確化しました。	2023/3/23	
17	NS2-補-027-16-2改01	屋外重要土木構造物等における機器・配管系に対する影響検討(コンクリート実強度)	P.7	以下のとおり誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)3.1.1~3.1.7に示す。 (新)3.1.1~3.1.9に示す。	2023/3/23	
18	NS2-補-027-16-2改01	屋外重要土木構造物等における機器・配管系に対する影響検討(コンクリート実強度)	P.7	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)3.1.1~3.1.7に示す通り、応答比率が1を上回ることを確認した。 (新)応答比較の結果、3.1.1~3.1.9に示す通り、 <u>各屋外重要土木構造物等において、応答比率の最大値が1を上回ることを確認した。</u>	2023/3/23	
19	NS2-補-027-16-2改01	屋外重要土木構造物等における機器・配管系に対する影響検討(コンクリート実強度)	P.7~9 他	震度表の記載を以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)震度(×9.80665m/s ²)×1.0(1.2) (新)震度×1.0(1.2)	2023/3/23	
20	NS2-補-027-16-2改01	屋外重要土木構造物等における機器・配管系に対する影響検討(コンクリート実強度)	P.33~37	図3.1.3-3において、図を追加したため、図表番号を修正しました。(下線部参照) (旧)図3.1.3-3(1/4)~図3.1.3-3(4/4) (新)図3.1.3-3(1/5)~図3.1.3-3(5/5)	2023/3/23	
21	NS2-補-027-16-2改01	屋外重要土木構造物等における機器・配管系に対する影響検討(コンクリート実強度)	P.36	B-ディーゼル燃料貯蔵タンク格納槽の床応答スペクトル図に抜けがあったため、追加しました。(鉛直方向、EL12.000m~11.900m)	2023/3/23	
22	NS2-補-027-16-2改01	屋外重要土木構造物等における機器・配管系に対する影響検討(コンクリート実強度)	P.83	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)簡易評価①の結果、以下の構造物について応答比率>裕度となる設備があることから、 (新)簡易評価①において応答比率が設備の裕度を上回った設備が設置される以下の構造物について	2023/3/23	
23	NS2-補-027-16-2改01	屋外重要土木構造物等における機器・配管系に対する影響検討(コンクリート実強度)	P.85	以下の誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)簡易評価①の結果、 <u>一部の設備(1設備)を除き</u> 、応答比率が設備の裕度以下となる (新)簡易評価①において <u>応答比率が設備の裕度を上回った</u>	2023/3/23	
24	NS2-補-027-16-2改01	屋外重要土木構造物等における機器・配管系に対する影響検討(コンクリート実強度)	P.85	表に設備の一次固有周期と設計用条件の種類を追記しました。	2023/3/23	
25	NS2-補-027-16-2改01	屋外重要土木構造物等における機器・配管系に対する影響検討(コンクリート実強度)	P.85	4.において、「3.5 詳細評価」の追記に伴い、以下のとおり記載を追記しました。(下線部参照) (旧)・・・実施する。 (新)・・・実施した結果、発生値が許容値以下であることを確認した。 <u>以上より、屋外重要土木構造物等に対してコンクリート剛性を実強度に変更した場合でも機器・配管系の耐震性に影響はないことを確認した。</u>	2023/3/23	
26	NS2-補-027-16-3改01	屋外重要土木構造物等における機器・配管系に対する影響検討(妻壁考慮)	目次,P.5	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)条件比率の作成 (新)条件比率の算定	2023/3/23	
27	NS2-補-027-16-3改01	屋外重要土木構造物等における機器・配管系に対する影響検討(妻壁考慮)	目次,P.6,37	3.1~3.2について、2と対応した項目名称としました。	2023/3/23	
28	NS2-補-027-16-3改01	屋外重要土木構造物等における機器・配管系に対する影響検討(妻壁考慮)	P.1	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)補足説明資料[NS2-補-023-13地震応答に影響を及ぼす不確かさ要因の整理] (新)NS2-補-023-13[地震応答に影響を及ぼす不確かさ要因の整理]	2023/3/23	
29	NS2-補-027-16-3改01	屋外重要土木構造物等における機器・配管系に対する影響検討(妻壁考慮)	P.3	応答比較を実施する床応答スペクトルの固有周期範囲と減衰定数を明確化しました。 また、全方向、全標高、全固有周期における応答比率の最大値が1を上回る場合にその応答による影響を検討する旨を明確化しました。	2023/3/23	
30	NS2-補-027-16-3改01	屋外重要土木構造物等における機器・配管系に対する影響検討(妻壁考慮)	P.3,4	簡易評価①及び影響検討条件作成に適用する応答比率を算出する床応答スペクトルの減衰定数を明確化しました。	2023/3/23	
31	NS2-補-027-16-3改01	屋外重要土木構造物等における機器・配管系に対する影響検討(妻壁考慮)	P.6	以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)3.1.1~3.1.3に示す通り、応答比率が1を上回ることを確認した。 (新)応答比較の結果、3.1.1~3.1.3に示す通り、 <u>各屋外重要土木構造物等において、応答比率の最大値が1を上回ることを確認した。</u>	2023/3/23	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
32	NS2-補-027-16-3改01	屋外重要土木構造物等における 機器・配管系に対する影響検討(妻壁考慮)	P.6,7 他	震度表の記載を以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)震度($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$ (新)震度 $\times 1.0$	2023/3/23	
33	NS2-補-027-16-3改01	屋外重要土木構造物等における 機器・配管系に対する影響検討(妻壁考慮)	P.37	3.2において、以下のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)「2.検討方針」に示す影響検討フローに従った検討を行い、簡易評価①の結果、全ての設備について、応答比率が設備の裕度以下となることを確認した。 (新)簡易評価①の結果、全ての設備について、応答比率が設備の裕度以下となることを確認した。	2023/3/23	